

## 2023 年度 小委員会活動成果報告

(2024 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	構造材料耐火性小委員会		主 査 名：道越 真太郎 就任年月：2021 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	防火委員会		委員長名：原田 和典
設 置 期 間	2021 年 4 月 ～ 2025 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	2017 年 2 月に刊行した「構造材料の耐火性ガイドブック(第 3 版)」のフォローを行うとともに、2025 年 4 月に第 4 版を刊行することを目的とする。 初年度：改訂アンケートの分析、火災時における各種構造材料の高温性状、高温物性試験に関する情報収集・データ分析 2～3 年度：情報収集、改訂原稿の執筆及び WG 内査読 4 年度：改訂原稿の防火本委員会査読、発刊および改訂講習会の実施		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：道越真太郎 (大成建設) 幹事：梶田秀幸 (前田建設工業)、平島岳夫 (千葉大学) 委員：梅本宗宏 (戸田建設)、常世田昌寿 (建材試験センター)、小林利充 (大林組)、鈴木淳一 (建築研究所)、藤原武士 (エスケー化研)、鈴木達朗 (鈴木工務店)、金城仁 (ベターリビング)、染谷朝幸 (日建設計)、浦川和也 (佐藤工業)、森田武 (清水建設)、四元順也 (日本建築総合試験所)		
設置 WG (WG 名：目的)	『構造材料の耐火性ガイドブック』の作成・発行を目的として、各種材料に関する調査・情報収集・提案・データ分析を行う。 ・コンクリート耐火性 WG：コンクリートを扱う。 ・木質材料耐火性 WG：木質材料を扱う。 ・アルミニウム耐火性 WG：アルミニウムを扱う。 ・鋼・耐火被覆 WG：鋼と耐火被覆を扱う。 ・新材料耐火性 WG：加熱発泡材料を扱う。		
2023 年度予算	220,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む、6/29、9/29、12/20、3/26)
刊行物	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	概ね予定どおり
委員会活動の問題点・課題	問題点・課題は特に無し

\* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

\* 表中の赤字「(設置目的) (書名) (名称) (資料名)」は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。